

～「手作り感」&「オリジナル性」のある年賀状で好感度アップをねらえ！？～

## 「現代の年賀状に関する調査」

- ・年賀状は「1年の節目」90.3%、「人とのつながりを感じる日本のよき文化」81.5%
- ・もっと簡単な年賀状作りを熱望!?毎年恒例の年賀状作りを「面倒」と感じている人が68.0%
- ・年賀状作りを忙しい年末の家族間コミュニケーションとして63.5%の人が期待も!

### 【調査概要】

年賀状に関する調査

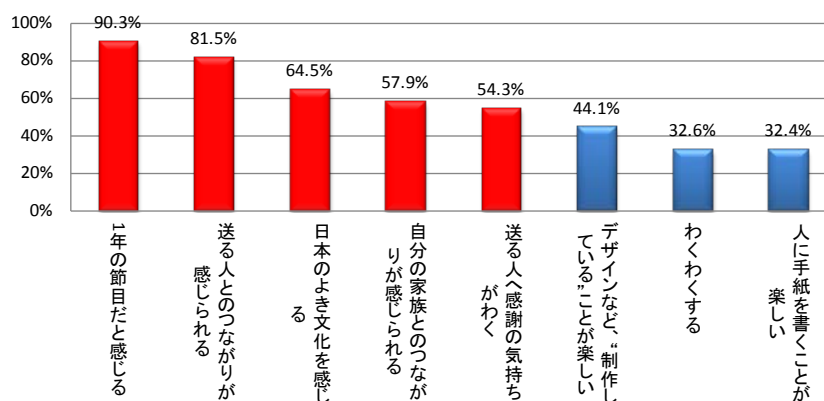
- ・調査方法 : インターネットアンケート(調査会社の登録モニター活用)
  - ・調査実施期間 : 2013年9月21日(土)～2013年9月23日(月)
  - ・対象地域 : 全国
  - ・調査対象 : 0歳～12歳の子どもをもつ親かつ、年賀状を送ったことがある男女各500人、計1000人
- ※本調査結果の掲載にあたりましては、出典として「ブラザー販売株式会社調べ」という表記をお使い下さい。

### 【調査結果詳細】

#### ①年賀状に対して、90.3%の人が「1年の節目と感じる」、81.5%が「送るひととのつながり」を実感!

年賀状作りに対して、人との「つながり」や「1年の節目」を実感することが出来る時間であり、「日本のよき文化」としてポジティブに捉えている人が多いようです。

Q1.年賀状を作っている時のあなたのお気持ちを教えてください。(単一回答, n=1000)



年賀状を作っているときの気持ちとして「1年の節目だと感じる」と回答した人が90.3%となり、最も多い結果になりました。続いて「送る人とのつながりが感じられる(81.5%)」、「日本のよき文化を感じる(64.5%)」、そして「自分の家族とのつながりが感じられる(57.9%)」となりました。年賀状作りを通して、「人とのつながり」や、「1年の節目」に行く「日本のよき文化」と実感している人が多いことが伺えます。

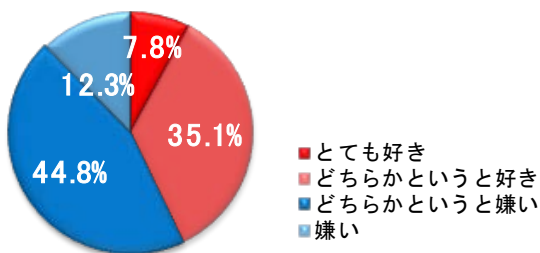
## ②もっと簡単な年賀状作りを熱望！？

### 一方で、「嫌い」と「面倒」な年末恒例作業になっている人も・・・

年賀状を作ることに 대해서는、「嫌い」もしくは「どちらかという嫌い」と回答した人が 57.1%、「面倒」と回答した人が 67.8%となり、**年賀状作りに対してネガティブに感じている人が多いことが伺えます**。さらには**76.5%の人が年末の忙しさを理由に年賀状作りを妥協してしまったことがあると回答**。年賀状に関しては「日本の続けるべき文化」として好意的に捉えている一方で、実際に「作る」となると厄介な年末恒例作業となっている人が多い実態が明らかになりました。

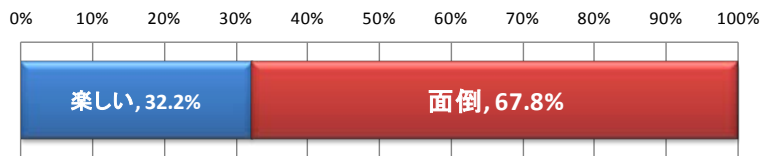
**忙しい年末の毎年恒例の年賀状作りだからこそ、もっと簡単な年賀状作りが求められているのではないのでしょうか。**

Q2.年賀状作りは好きですか。(単一回答, n=1000)



年賀状作りは好きですか、という問いに対して「とても好き」もしくは「どちらかという好き」と回答した人は 42.9%。一方で「嫌い」もしくは「どちらかという嫌い」と回答した人が 57.1%となり、**年賀状作りは「嫌い」と感じている人のほうが多いようです**。

Q3.年賀状を作ることに對して、あなたの気持ちに近いほうはどちらですか。(単一回答, n=1000)



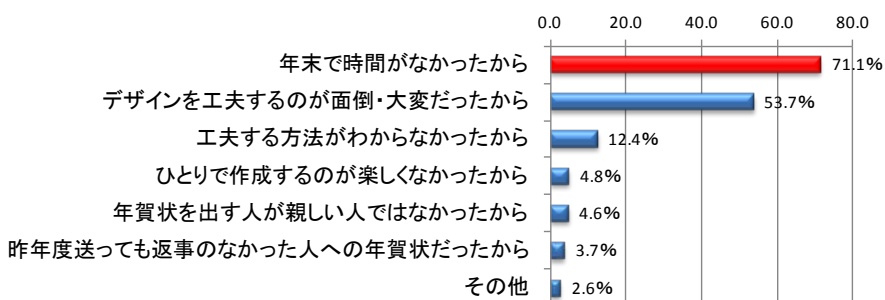
年賀状を作ることに對する気持ちとしては、「楽しい(32.2%)」よりも「**面倒(67.8%)**」と感じている人が圧倒的に多い結果になりました。

Q4.あなたはこれまでに妥協して年賀状を作成したことがありますか。(単一回答, n=1000)



年賀状作りを**妥協したことがあると回答した人は、全体の 76.5%にも及びました**。

Q5. (Q4で「妥協したことがある」と回答した人を対象)あなたはなぜ妥協してしまったのか、あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)(複数回答, n=765)



妥協してしまった理由としては、「**年末で時間がなかったから**」という回答が最も多く、**面倒、嫌いであるとネガティブに感じがちな年賀状作り**に、**年末の忙しさが拍車をかけた結果、妥協してしまったという状況が伺えます**。年賀状作りにおいて、**もっと簡単に出来るものが求められているのではないのでしょうか。**

### ③記憶に残っている年賀状はたったの約3割。 年賀状の好感度は「手作り感」&「オリジナル性」が重要！

今年2013年に受け取った年賀状の平均枚数は56.3枚という結果になりました。たくさんもらう年賀状ですが、そのうち記憶に残っているものは、たったの約3割。より印象に残る年賀状とはどんなものなのか調査するために、受け取った年賀状の好感度の条件を調べたところ「直筆」であることや、自分へのメッセージがあること、さらには家族やペットの写真を使ったものや、手書きのイラストを取り込んだものなど、「手作り感」や「オリジナル性」があるものが高い好感度であることが伺えます。

今年は年に1度しかない年賀状作りを有効活用して、「手作り感」や「オリジナル性」がある年賀状で上司や、親族、友達に対する好感度アップを狙ってみてはいかがでしょうか。

Q6.2013年のお正月にもらった年賀状は何枚ですか。(自由回答, n=1000)

#### 2013年にもらった年賀状平均枚数=56.3枚

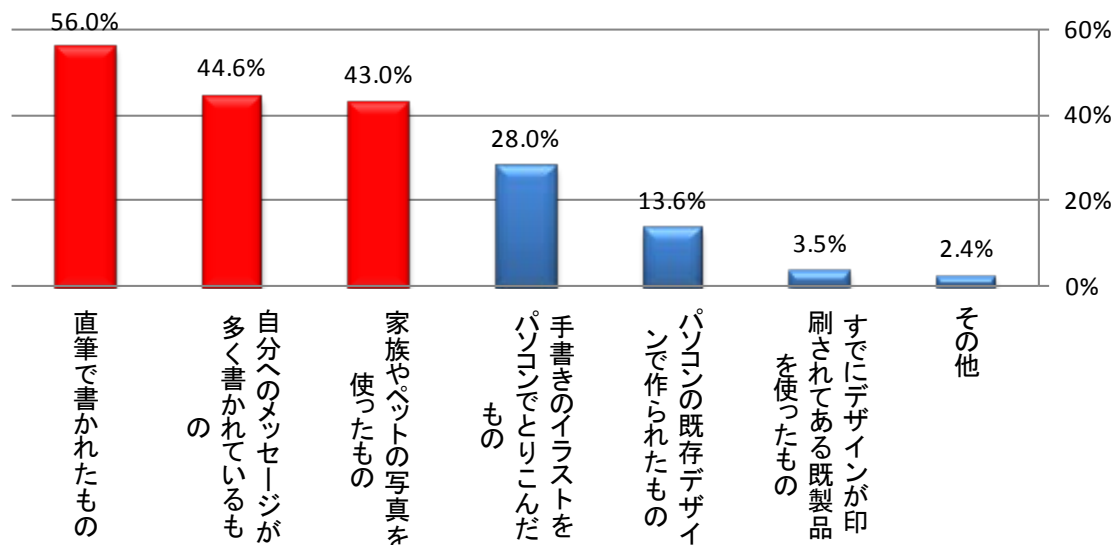
2013年にもらった年賀状枚数の平均値としては56.3枚という結果になりました。

Q7.そのうち、どのような年賀状だったか覚えているものは、何割くらいですか。(自由回答, n=1000)

#### 2013年にもらった年賀状で覚えている割合=2.98割

2013年のお正月にもらった年賀状のうち、どのような何が状だったか覚えているものはたったの約3割。平均枚数である56.3枚もらった場合、換算するとたったの16.8枚しか記憶にないという結果になりました。

Q8.次のうち、もらって好感度が高い年賀状はどれですか。(いくつでも)(複数回答, n=1000)

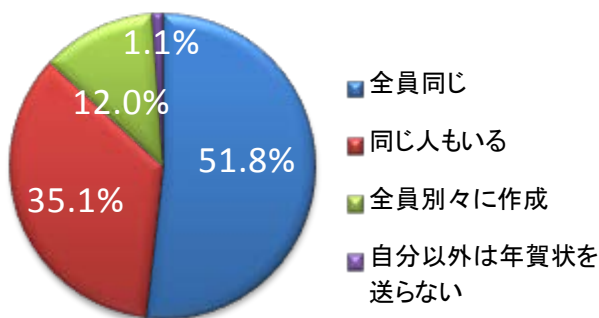


好感度が高い年賀状として「直筆で書かれたもの(56.0%)」が最も回答者が多く、次いで「自分へのメッセージ(44.6%)」が多く書かれているもの」そして「家族やペットの写真を使ったもの(43.0%)」という結果になりました。好感度の高い年賀状にするためには作り手の「手作り感」や「オリジナル性」が重要な条件のようです。

#### ④年賀状作りを年末の家族イベントに！ 忙しい年末の家族間コミュニケーションの機会としても期待！？

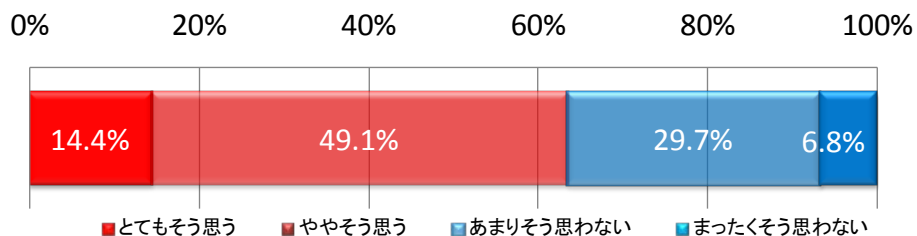
年賀状作りがどのように行われているのか調べたところ、家族で同じデザインを使う人が51.8%と過半数以上を占め、多くの家庭において家族で同じデザインを使いまわしているとの結果になりました。また63.5%の人が、年賀状作りが「家族間のコミュニケーションにつながる」と思っており、忙しい年末の家族間のふれあいの一つとしての期待も高いようです。今年は年賀状作りを年末の家族イベントとして、家族の思い出に残る時間にしてみてはいかがでしょうか。

Q9.家族で同じ年賀状のデザインにしていますか。(単一回答, n=1000)



年賀状のデザインは「全員同じ」もしくは「同じ人もいる」と回答した人は86.9%となり、多くの人が家族で同じデザインの年賀状を使用しているようです。逆に「全員別々に作成する」と回答した人は、12.0%のみという結果になりました。

Q10.家族で年賀状を作ることは家族間のコミュニケーションにつながると思えますか。(単一回答, n=1000)



家族で年賀状を作ることは家族間のコミュニケーションにつながると思っている人は全体の63.5%となりました。年賀状作りを忙しい年末の家族間コミュニケーションの機会として期待が高いことが伺えます。